

臨床研究「炎症性肺疾患の遺伝素因に関する研究」について

水戸医療センター呼吸器科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究で対象とする炎症性肺疾患とは、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患と間質性肺炎です。慢性閉塞性肺疾患は COPD とも言われ、肺気腫症と慢性気管支炎が含まれます。気管支喘息と COPD は近年急速に増加しており、日本の全人口の 3~6%が気管支喘息、また 8.5%が COPD に罹っていると推定されています。これら 3 疾患が個人の健康寿命に与える影響は大きく、また社会経済に与える損失も計り知れません。

気管支喘息と COPD では、気道が狭くなるため呼吸が苦しくなります。胸がゼーゼーと音をたて、咳や痰が出たりします。間質性肺炎は肺が硬くなる病気ですが、同様の症状が出現します。症状だけから 3 つの疾患を区別するのは難しいことがあります。気管支喘息は主にアレルギー物質を吸入することにより、また COPD は主に喫煙により、さらに間質性肺炎は喫煙や粉塵の吸入などによって、気道に炎症が引き起こされることが原因となっていると考えられています。しかしながら、これらの刺激が加わった時に必ず病気を発症するわけではなく、発病には個人の体質などの遺伝的素因が関係していると考えられています。3 疾患とも治療としては、気管支拡張剤や炎症を抑える薬剤が用いられます。しかし、これらの薬剤に対する反応性も個人によって異なっており、この作用の違いにも遺伝的な因子が関係していると思われれます。

本研究は、気管支喘息と COPD、間質性肺炎の発病が生まれながらの体質と関係しているかを、血液から取り出した遺伝子を調べることによってより正確に診断できるようにすることを目的としています。さらに、将来の病気の進行の程度や、薬剤の効き方を予測することにも役立つと考えられます。また、今回の研究に用いられる病気の状態や遺伝子情報が、医学の発展に伴って将来計画される気管支喘息あるいは COPD、間質性肺炎の研究にとっても役に立つ可能性があります。

② 研究対象者

倫理審査委員会再承認後～2023 年 3 月 31 日までに本研究に同意を頂いた患者さん、健常者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会再承認後～2023 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

採取された血液中の細胞から遺伝情報が含まれている DNA という物質を抽出し、この遺伝情報について調べます。調べる対象となる遺伝子は、気管支喘息や COPD、間質性肺炎の発症に関係する遺伝子が主となります。また、将来これらの疾患との関係が判ってくる遺伝子も調べることとなります。さらには、現時点では働きが不明である遺伝子の変異についても網羅的に調べます。遺伝子変異の発現頻度が、疾患群と健常者群で異なるか否か、あるいは治療反応群と治療不応群で異なるか否かなどについて統計的な解析を加えます。

⑤ 試料・情報の項目

血液、検査データ、診療記録等。本研究で用いる遺伝子データは個人情報に該当しますが、直

ちに個人を特定できるものではありません。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

下記共同研究施設に試料・情報を郵送や電子記録送付にて提供する場合があります。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院呼吸器内科 檜澤伸之 (呼吸器内科 教授)

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院：檜澤伸之

理化学研究所：広田朝光

東京慈恵会医科大学：玉利真由美

北海道大学病院：西村正治

筑波大学呼吸器内科関連病院：

茨城東病院 齋藤武文

日鉦記念病院 長南達也

日立総合病院 名和健

水戸協同病院 佐藤浩昭

水戸医療センター 遠藤健夫

茨城県立中央病院 鍋木幸之

茨城西南医療センター 野村明広

小張総合病院 二宮浩樹

筑波メディカルセンター病院 石川博一

筑波学園病院 船山 康則

霞ヶ浦医療センター 石井幸雄

龍ヶ崎済生会病院 児玉幸秀

水海道さくら病院 廣井信

きぬ医師会病院 大塚真人

総合守谷第一病院 鶴重千加子

美浦中央病院 橋本健一

ひたちなか総合病院 山田英恵

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんや健常者さんでご同意いただいた方のうち、本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

責任医師：遠藤健夫 (内科系診療部長・呼吸器科医師)

連絡先 水戸医療センター

(住所) 〒311-3193 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280番地

(電話) 029-240-7711

※担当医師または呼吸器内科の医師を呼び出してください。